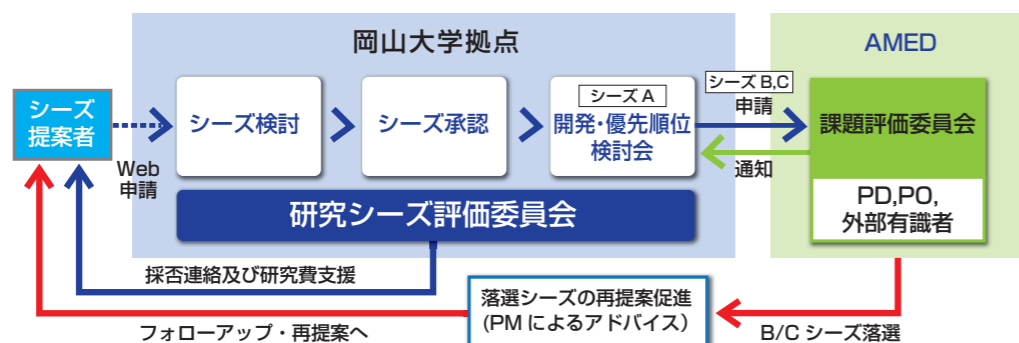


シーズ提案から研究支援決定までの流れ



シーズ提案者は、岡山大学拠点にシーズパッケージ制度を活用した、研究支援申請を求めることができます。岡山大学拠点は、定められたシーズ評価プロセスに従い、申請内容を検討し、シーズ承認可否判断を行います。申請は、本パンフレット記載のホームページにアクセスして頂き、アカウント申請後 Web 上でシーズ基本情報をご登録ください。

URL: <https://seeds.hsc.okayama-u.ac.jp>

研究シーズ評価委員会 開発・優先順位検討会

シーズ応募側に最適化した審査体制

当委員会での応募シーズ審査は、審議の透明性、中立性、客観性、専門性を最大・最適化したメンバー構成で担当いたします。大学組織の意思決定に影響を受けない体制となっており、安心して相談、応募できる環境を整えています。(研究シーズ評価委員会には学外委員も参画しています)

シーズ支援決定後

各シーズの研究開発代表者は、シーズパッケージ制度を活用し、自ら主催する研究実施場所で、補助事業費(シーズ A) および研究開発委託費(シーズ B、C)を受け、拠点のプロジェクトマネージャーと連携して課題を遂行します。研究開発代表者は、拠点のプロジェクトマネージャーに対して、研究に関するデータを開示・提供することが求められますが、研究開発成果は、拠点に関わりなく、発明者が所属する機関において独自に特許出願を行うことができます。シーズ A では、特許出願に必要な費用として補助事業費を活用することができます。また、拠点では、発明者の所属機関および AMED の知的財産部と連携し、知的財産取得戦略の立案支援あるいは治験に関する研究開発支援を行っています。相談をご希望される場合には、拠点にご連絡ください。

情報管理

シーズ応募側に最大限配慮

審査結果に関わらず、受領したシーズ情報は厳重に管理され、機密が保全される体制が整備されています。例えば、応募シーズ情報や着想を岡山大学が、勝手に流用・加工・再利用など、他の研究テーマに活用するようなケースは皆無です。

橋渡し研究戦略的推進プログラム 研究シーズ募集のご案内

The Translational Research program;
Strategic PRomotion for practical application of
INnovative medical Technology (TR-SPRINT)

研究シーズのご応募をお待ちしております

岡山大学拠点は、「健康寿命の延伸を目指した次世代医療」というビジョンの下、他の拠点、支援機関とのネットワーク構築事業に参加することで連携を深め、拠点内のみならず、中国・四国地域の大学、大学病院、研究機関から生み出される優れた研究成果・研究シーズについて、本プログラムを通じ、それぞれの場所での研究実施と特許取得を支援させていただきます。

皆様からの、研究シーズのご応募ならびにご相談をお待ちしております。

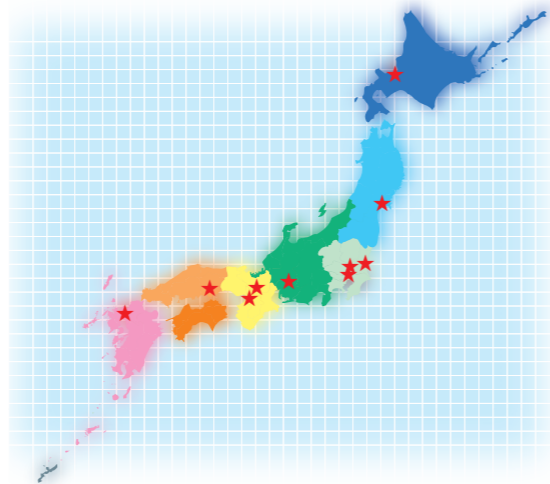
基本方針

学外シーズ支援

岡山大学学内のシーズだからと優先せず、中国・四国地域の大学病院、研究機関、関連病院からのシーズを公平に扱わせて頂き、科学的な評価を最優先する体制となっています。また、支援が決定したシーズ（シーズA）の特許出願において、岡山大学拠点が当該シーズ支援に付帯条件を主張をすることはありません。

橋渡し研究戦略的推進プログラムとは

- 目的** 本事業では、革新的な医薬品・医療機器等を持続的にかつ多く創出し効果的・効率的に国民へ提供することを目指し下記のことを行います。
- ・これまでに整備されてきた革新的医療技術創出拠点の基礎研究段階から一貫して実用化に繋ぐ体制の基盤を活用いたします。
 - ・全国の大学等の拠点において、産学連携、拠点外の機関の研究課題を積極的に支援するために必要な人材・設備等を整備します。
 - ・シーズ育成能力を強化するとともに、日本全体としてアカデミア等による革新的な基礎研究の成果を一貫して実用化に繋ぐ体制を構築します。



拠点の役割

拠点は、5年で新規シーズ6件以上の医師主導治験の開始を目指し（治験不要の承認申請、先進医療の開始、ライセンスアウト等も同様に評価します）、シーズ研究者と連携し、拠点の判断により様々な開発段階にあるシーズ（シーズA、B、C）に関して最適な資金配分を実施する仕組みを含めた橋渡し研究支援を実施します（シーズパッケージ制度）。

シーズA 関連特許出願を目指す基礎研究開発課題

シーズB 関連特許出願済である以下の研究開発課題

- ・非臨床POC取得及び治験届提出を目指す医薬品及び医療機器等の研究開発課題
- ・薬事申請用臨床データ取得を目指す体外診断用医薬品の研究開発課題

シーズC 関連特許出願及び非臨床POC取得済みである以下の臨床研究課題

- ・健常人又は患者を対象とし、臨床POC取得を目指す医薬品等の研究課題
- ・治験又は性能試験を行い、承認・認証を目指す医療機器等の臨床研究課題

■拠点は、これらのシーズの実用化加速のため、以下の内容を実施します。

- ・拠点外シーズを含むシーズ探索、選考
- ・シーズの支援、進捗管理の責任者としてプロジェクトマネージャーの指名
- ・プロジェクトマネージャーによるシーズの進捗管理と評価
- ・戦略的な知的財産の確保・活用の支援
- ・企業とのマッチング活動支援
- ・拠点間連携を活用した迅速な治験完遂支援
- ・シーズの国際展開を目指した国際的に通用する基準での支援、海外の共同研究機関対応、海外規制当局対応支援

※平成29年度公募要領 橋渡し研究戦略的推進プログラム〔一次公募〕（平成28年12月）
国立研究開発法人日本医療研究開発機構 より一部改編引用

シーズ育成プロセス

継続的ステップアップ支援体制

シーズAとして拠点で採択され、特許出願を果たした後、引き続き、実開発段階であるシーズBからシーズCへとステップアップすることが可能です。一方、シーズAを経ることなく、シーズBあるいはシーズCへ応募することも可能です。補助金額は複数年支援を基本とした場合、トータルで数億円単位となる可能性もあり、正に出口を見据えた研究開発を実践できます。

シーズ育成機能の強化

橋渡し研究支援拠点は支援するシーズを研究の進捗毎にシーズA～Cに振り分けます。



産業創出

※1. 原則、他の競争的資金等の支援を受けていないシーズについて支援するものとし、毎年申請することを前提とします。
※2. 研究費等の支援対象課題となるシーズB及びCは、関連特許の出願人に原則、研究開発代表者の所属する研究機関が含まれるものとする。

シーズ育成機能

岡山大学拠点が直接支援

特許出願を主目的とするシーズAは、岡山大学拠点到設置した2つの委員会にて透明性と公平性を持って審査し、一課題最大500万円の支給を岡山大学拠点が独自に決定できる仕組みです。申請支援だけでなく、開発計画の立案、知財周辺情報収集等のシーズのステップアップ、企業とのマッチング等に関連した支援も含めてご相談ください。